

児童生徒の声を新聞に

「こだま学園編」

毎週日曜掲載の投稿コーナー「こだま学園編」では、児童生徒、学生の皆さんの声を募集しています。

日常生活や学校での学習、体験、ニュースを見て思ったこと、気づいたこと、自分の考えや意見を自由に書いてください。



投稿規定

- ・対 象：山陰両県の小中学校、高校の児童生徒、専門学校、高専、大学の学生。児童クラブなどからの応募も歓迎です。
- ・テ マ：自由ですが、必ず「自分の意見、考え」を入れてください。
- ・文 字 数：400字程度（趣旨は変えずに文章を整える場合があります）
- ・応募方法：学校や学級で取りまとめて送ってください。数人からで OK。クラス全員でなくても構いません。有志だけで応募できます。手書きでも、パソコンで打ったものでも OK です。郵送、FAX、メールで送ってください。
- ・掲載は原則実名です。名前が確認できる名簿を作品と一緒に送ってください。

※投稿が掲載された人には図書カードを贈呈します。

応募・問い合わせ先

〒690-8668 松江市殿町 383
山陰中央新報社 学園こだま係
電 話：0852-32-3414
F A X：0852-32-3520
メール：nie@sanin-chuo.co.jp

いっしょに考えてみよう



投稿(投書) を書こう!



投書って?

意見、感想、希望、苦情、疑問など、自分の思いを、読者に伝えるための文章です。

- ・ 字数制限があります(「こだま学園編」は400字程度)。簡潔に書きましょう。
- ・ SNSへの投稿と違い、実名(名前を出す)が原則です。

書き方の3ステップ

- ①テーマ(書きたいこと)を決める。
- ②構成を考える(「はじめ・なか・おわり」「序論、本論、結論」)。
- ③読み返し、推敲する。

※推敲(すいこう) = 文章を何度も見直して、よりよくすること

何を書くか

「このことを他の人にも知ってほしい」「考えてほしい」と思う話題を選ぶ

- ・ 身の回りの出来事や日常生活で感じたこと(家族・地域・学校・部活・趣味など)
- ・ 社会の出来事に対する考えや意見(事件、事故、政治、経済、地域課題、テレビやインターネットで気になったニュースなど)

必 自分の意見を入れる

必ず自分の主張、考え、意見を入れましょう。これが投書で最も必要な要素です。

「〇〇について私は〇〇と思う」

「私は〇〇と考える」

「伝えたい」を見つけよう

文章のうまさより大切なのは、「伝えたい」という気持ちです。

まずは自分が「伝えたいことは何か」をしっかりと見つけることが大切です。これがあれば読み手の心に響きます。

伝えたいことが見つかったら、勇気を出して、少しずつでいいから言葉にしてみましょう。



伝えるって楽しいよ!

みなさんの投稿をお待ちしています